

2016年9月29日

各国立大学法人 御中

男女共同参画学協会連絡会第14期委員長 小川温子
第4回大規模アンケートWG委員長 北川 尚美

男女共同参画学協会連絡会大規模アンケートご協力をお願い

拝啓

貴学におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

男女共同参画学協会連絡会(以下、連絡会)は、自然科学系の学協会間での連携協力を行いながら、科学技術の分野において女性と男性がともに個性と能力を発揮できる環境づくりとネットワーク作りを行い社会に貢献することを目的として、2002年に設立され、今年で15年を迎えます。

連絡会では、自然科学系の研究者・技術者を取り巻く現状を把握するために、これまで2003年、2007年、2012年の3回にわたり大規模アンケート調査を行い、それぞれ約2万人の男性・女性の研究者・技術者から回答を得ました。それらの調査結果は男女共同参画社会をめざす上で直面する様々な問題点を議論する上での統計的根拠として、現在も様々な場面で引用されております。また、アンケート結果に基づいて作成した提言は、国の政策決定に反映されており、実際に男女共同参画に関する様々な支援策が講じられてまいりました。このように、アンケート調査を定期的に継続して実施することは、男女共同参画の実情やその認識の変化を明らかにし、実施されている政府事業の効果を検証し、さらに新たな課題を見出す上で大変重要と考えております。

そこで連絡会では、第4回大規模アンケートを2016年10月に実施すべく準備をすすめております。なるべく多くの自然科学系研究者・技術者の声を集めるべく、国立大学法人にもアンケート実施をご周知いただきたく、ご案内させていただきたく次第でございます。自然科学系分野を専門とする教職員および学生にご周知いただくようお願い申し上げます。

より多くの科学者・技術者の皆様にアンケートへの積極的なご協力をお願いいたしたく存じます。是非ともご協力下さいますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 調査内容

- ・年齢・性別・経歴・職種・所属学協会等、基礎データ
- ・仕事関係(仕事時間、雇用形態、キャリア形成等)
- ・育児・介護(子供の人数、育児休業、介護休業、ライフワークバランス等)
- ・男女共同参画(意識、推進に必要なこと)
- ・これまでに実施された男女共同参画推進関連の政策の周知度と効果

2. アンケート実施方法:オンラインによる実施 (web 回答方式)

<https://wss2.5star.jp/survey/index/n3dd5zyv/9390/>

3. アンケート実施期間:2016年10月8日(土)~10月28日(金)(予定)

4. 実施団体および問い合わせ先

男女共同参画学協会連絡会 <http://www.djrenrakukai.org/>

担当: アンケートWG事務局(化学工学会事務局内) E-mail: danjo2016@scej.org

※個人情報の取り扱いについて

回答は、無記名のものとして統計的に処理し、個人を特定することはありません。収集したデータに関しては情報漏洩防止対策を徹底し、男女共同参画推進活動にのみ活用します。

以上